

清流 8月

発行：浜松市下阿多古ふれあいセンター 編集協力：下阿多古ふれあいセンター活動推進委員会
〒431-3427 浜松市天竜区上野172番地の3 TEL 053-926-3141

	世帯数	前月比	人口	前月比
浜松市	359,538	81	780,030	-378
天竜区	11,741	7	24,513	-11
下阿多古	1,261	2	2,363	1
詳細は 浜松市統計 検索				

清流阿多古川で水生生物の調査

六月二十五日(水)、下阿多古小学校の三・四年生十四名が、両島橋近くの阿多古川で行われた、ふれあいセンター子ども講座「水生生物の調査」に参加しました。

講師は地元上野在住の静岡県・浜松市環境学習指導員の野澤利治さんです。

子供達は、最初は、なかなか水生生物を採取することができずにいましたが、一緒に川に入った校長先生が川辺の葦の影から大きなウツセミカジカを捕まえてくると、それにならって、葦の根つこの奥に、タモを入れ、沢山の生物を採取することができました。

講師の野澤さんは、採取した生物を子供達の手のひらにのせ、においや感触を確かめてもらい、それぞれの名前や特徴を説明してくれました。

今年もきれいな川に生息するサワガニ、ヒラタカゲロウを採取でき、水質は良好でした。

しかし、日本の特定の場所に生息していたはずの生物や他の国から来た生物が三十分程の間に何種類も採取され、生態系という点では阿多古川の環境が変わってきていることが分かりました。

野澤さんからは、「もし、亀を飼っていても川に逃がすのは禁止です。」と一番身近な環境保護の法律を教えていただきました。



"卓球"と"ヨガ"に親子で挑戦!

6月23日(月)、あゆっこ学級親子活動がありました。あゆっこ学級は、ふれあいセンターが行っている家庭教育学級のひとつで、小学校1年生とその保護者が活動しています。

午前中、小学校で参観をしてから、午後はふれあいセンターで卓球とヨガをしました。

卓球はラリーを優先したマイルールにより、自由に遊ぶことができました。ヨガは、講師の伊東友恵先生が、親子ペアのメニューを考えて下さり、「家でもできそうだね。」との声が聞かれました。どちらも初挑戦でしたが、とても楽しそうな雰囲気でした。



星に願いを

7月3日(木)のひよこ学級には、おばあちゃんと社会福祉協議会子育て支援部の牧澤さんが応援にきてくれました。

ひよこ学級では、毎月、季節に合わせた行事を行っています。この日は足形をとって、織姫と彦星の羽衣に見立てた記念シートを作りました。

そして、おばあちゃんが採ってきてくれた笹に、願いを込めて短冊を結びました。



「アユ」をつかんだよ！

7月9日(水)、下阿多古幼稚園の子ども達がアユのつかみ取りをしました。

子ども達は、プールに放たれたアユをジーっと見ていだけで手を出すことができませんでしたが、先生やお母さんから「さわってごらん」といわれると、一人がアユを見事に捕まえることができました。その後は、もう、みんな水しぶきをあげて一生懸命でした。

うまく捕まえた時もあれば、小さな手からすり抜けたアユが、シートの上に落ち、スルスル動いてなかなかつかめない場面もあり、楽しいひと時となりました。



たのしく絵手紙をかこう！

受講生募集

～ご無沙汰しているあの人に
絵手紙を送ってみませんか！～

- 【日 時】 10/7(火) 名前印づくり
11/4(火) おいしい野菜を描いてみよう
12/2(火) クリスマスカードを描こう
1/6(火) いろいろな道具で線を描こう
2/3(火) 自画像を描こう
いずれも午後1時30分～午後3時30分
- 【場 所】 下阿多古ふれあいセンター 2階 児童室
- 【講 師】 伊藤 里美氏(日本絵手紙協会公認講師)
- 【参 加 料】 1,000円(材料代)
- 【定 員】 15名(先着順)
- 【持 ち 物】 水分補給の飲み物、筆記用具
(こちらで道具は準備しますが、普段お使いになっている物をお持ちいただいてもかまいません。)
- 【申込期間】 8月8日(金)～9月25日(木)
- 【申込方法】 下阿多古ふれあいセンター窓口
または電話でお申込みください。
- 【お問合せ】 下阿多古ふれあいセンター ☎926-3141

第21回 天竜芸術祭美術展

出品者募集

を開催します！

【出品申込】

申込期間: 令和7年10月1日(水)～10月31日(金)

提 出 先: 天竜区役所まちづくり推進課
文化生涯学習グループ

(天竜芸術祭美術展実行委員会事務局)

※申込詳細については、9月以降に各ふれあい
センター・各支所・天竜区役所まちづくり推進課
で募集要項をご確認ください。

【種 目 等】

写真 彫刻 造形作品 工芸 書道 日本画
水彩画 油絵 版画 デザイン

【展覧会会期】

令和7年11月22日(土)午後1時～午後5時

令和7年11月23日(日)～11月27日(木)

午前9時～午後5時

※最終日11月27日(木)は午後4時まで

【展覧会会場】

二俣ふれあいセンター

【お問合せ】

天竜芸術祭美術展実行委員会事務局

(天竜区役所 まちづくり推進課) ☎053-922-0086

『下阿多古むかしばなし』⑦火の玉

昔は組の寄合(よりあい)等で火の玉を見た話が話題になった。

人が亡くなる二、三日前または亡くなりそうな時に、魂は体から抜け出すものと考え、青白色とか黄色く長く尾を引いて光る玉の様に空中を飛ぶものを「火の玉」と呼んだ。

墓地で夜、燐(りん)が燃えて青白い光を出す物を「人魂(ひとたま)」として「火の玉」とは区別する事もある。

何にしても「火の玉」、「人魂」を見たという人が何人もいる。夏の夜の話だけだろか。

参照:「下阿多古の昔話」

時短歌作る眠れぬ夜に指を折る
坪井良子

田植えする子等のまなざし真剣に
苗の本数きちんと数え
「小学生の田植え」 松本和子

仏前に子供孫と手を合わす
偲ぶ法要十三回忌
小林勝子

大空に風舞い上り親喜して
風の吹くまま我れも楽しむ
二橋かほる

早朝に並ぶ人々米を買う
平和八十年の終戦記念日
水野哥那子

清流歌壇